

4-1-1 総合診療部

4-1-1-1 小児期診療科

1. 概要、特色

成育医療センターの中での総合診療部の役割は、チーム医療のかなめ役と小児科専門医育成のための研修である。チーム医療のかなめ役としては、医療技術が高度になり専門分化されればされるほど、全体的に患者を捉える医療が必要になってくる。高度専門医療を行う当センターにおいては、専門診療としての胎児医療、周産期医療をはじめ多くの小児専門医療が実施され、更に多臓器に障害を持つ児が紹介されてくるため、重度重複障害児を扱う機会も多い。そのような子ども達を専門診療部と連携しつつ包括的に子どもを診ることである。もう一つの役割が研修であり、スーパーローテーション方式の初期臨床研修を実施してきた医師が増えてきている中、後期研修として小児科専門医を目標においた研修を実施している。研修内容もプライマリケア、小児救急医療、保健医療、専門医療と広範囲に実施されている。

2. 診療活動

2.1 外来診療

総合診療外来、予防接種、乳幼児健診、発達外来、外科系専門診療部予診外来を担当している。総合診療部外来では、専門科を特定できない様々な主訴の患者が受診している。また多臓器に障害をもち各専門分野の医療が必要な児の主治医として、必要な医療がスムーズに漏れなく行われるようコーディネートしている。診療体制は、外来ローテーションレジデントが診察をおこない、スタッフ、医長に相談して診療をおこなっている。

2.1.1 総診初診

専門診療科のはっきりしない場合、多臓器にわたる疾患で総合的診察が必要な患者を対象としている。最近の傾向は、頭痛、腹痛、不定愁訴、夜尿、不登校なども増えてきている。

2.1.2 総診再診

初診で受診した患者のフォローと、救急センターに受診し、その後何回か当院でのフォローが望ましい患者の診察を行っている。救急患者の経過観察ができるため研修としても有益である。

2.1.3 総合予診

特に外科系専門診療部を受診する患者で総合的に評価、フォローが必要な患者に関して、内科的見地で診察をおこなっている。当院のように多臓器疾患をもつ患者には有効な外来である

2.1.4 総診午後

午前中の初診患者のフォローと入院していた患者の外来フォロー、在宅ケアを実施している患者のフォローを中心にレジデントが実施している。

2.1.5 予防接種

レジデント研修として予防接種ガイドラインに沿った予防接種の実施、アレルギー疾患、免疫不全症を持つ患者への接種を実施している

2.1.6 健診

当院出生の新生児の1ヶ月健診および、成育コホート調査中の乳児の6ヶ月健診、発達障害のある児の健診と適切な医療施設への紹介をしている。

2.2 病棟診療

乳児期病棟、小児期病棟、外科系病棟での入院患者のケアを行っている。当直帯で入院した患者の引継ぎが確実に行われるよう毎朝7:30より患者の申し送りおよび抄読会を行っている。

2.2.1 療育ケアチーム

重複障害児で長期入院および頻回入院児を対象にしている。各チームでのゴールを設定し、統一したケアができるよう、総合診療部、神経科、リハビリ科、看護部、ケースワーカーでチームを形成し週1回回診を行っている。在宅人工呼吸器患者も多数おり、地域の担当者との連携を行い退院後の患者のニーズにも対応できるような体制づくりを進めている。

2.2.2 緩和ケアチーム

様々な疾患で長期生存が困難な児童を対象としている。該当ケースのカンファレンス、勉強会を行っている。緩和ケアを行った児も次第に増え、ノウハウを蓄積しつつある。医師、看護師、保育士、心理士、ケースワーカーで固定スタッフ+流動スタッフを形成することを目標としているが、人員配置が難しく担当スタッフを中心にして行っている。

2.3. 各種疾患のガイドライン作成

総合診療部が扱う数が最も多い疾患、即ち川崎病、尿路感染症、体重増加不良、菌血症、細菌性髄膜炎、虐待、重度重複障害児について研究班を組織し、治療ガイドライン作成、後方視前方視的研究を開始している。

3. 研修、評価

3.1 プレゼンテーション

研修システムの充実のためレジデント対象の様々なカンファレンスを行っている。特にプレゼンテーション能力の向上を目的として下記のカンファレンスを行っている。

- (ア) 毎朝 7:30 ~8:00 レジデントによる新入院患者のプレゼンテーション
- (イ) 高山部長による英語による病棟回診 8:00~9:00
- (ウ) 学会発表の訓練のためのレジデントカンファレンス 毎週水曜日

3.2 各セミナー

下記のセミナーを定期的に行い知識の向上に努めている。

- ・ ランチタイムセミナー 火曜日、木曜日 12:30~13:30
- ・ Radiology conference 月曜日 17:00~18:00
- ・ 思春期勉強会 木曜日 18:00~19:00
- ・ evening seminar 水曜日 18:00~19:00

総合診療部 Weekly Schedule

	Mon	Tue	Wed	Thir	Frid
7:30-8:00	全体会議	夜間入院申し送り (Journal Club)	夜間入院申し送り	夜間入院申し送り (Journal Club)	夜間入院申し送り (Journal Club)
8:00-9:00	全体会議 (放射線科会議室)	Dr.Takayama's English Ward Round (8F)	総合診療部・救急部合 同会議 (救急部医局)	Dr.Takayama's English Ward Round (10F)	Grand Round
9:00-12:30	外来、病棟	外来、病棟	外来、病棟	外来、病棟	外来、病棟

12:30-13:30	スタッフ会議	ランチタイムセミナー (総合診療部・救急診療部スタッフ)	レジデントレクチャー	1. ころ診療部・総合診療部合同検討会 2. 9階勉強会 3. 難しい症例の英語による検討会 4. Dr 高山レクチャー	スタッフ・レジデント会議
13:30-14:30				Dr.Takayama's English Ward Round (9F)	Dr.Takayama's English Ward Round (7F)
13:30-14:30	予防接種、乳児健診	乳児健診	乳児健診	乳児健診	予防接種、乳児健診
13:30	外来、病棟	外来、病棟	外来、病棟	外来、病棟	外来、病棟
16:00-18:00	sign out	sign out	sign out	sign out 16:30 療育会議	sign out
17:00-18:00	放射線科・総合診療部合同検討会 (放射線会議室)	外来 review	外来 review	17:30 神経放射線検討会	
18:00-19:00	外来 review	外来思春期患者検討会 (9階会議室)	イブニングセミナー (専門診療部スタッフ)	外来 review	外来 review

以下は evening seminar で行ったタイトルである。

2005/4/20	内分泌科 堀川 Dr	性成熟とその異常
2005/5/18	救急診療科 上村 Dr	小児救急患者のアプローチ
2005/5/25	皮膚科 佐々木 Dr	最新AD治療
2005/6/8	総合診療部 松本 Dr	誤嚥、胃食道逆流の診断・管理・治療
2005/6/22	総合診療部 洲鎌 Dr	脳の発達を促しかた。
2005/6/29	アレルギー科 大矢 Dr	小児アレルギー疾患の行動科学的アプローチ
2005/7/6	歯科 金田-DR 水戸 Dr	基礎疾患を有する子供の歯科治療
2005/7/13	製薬会社	小児疾患の漢方治療
2005/7/20	消化器科 田川 Dr	小児消化器疾患の最近の進歩
2005/8/3	神経内科 長澤 Dr	抗てんかん薬の基礎と応用
2005/8/24	総合診療部 道端 Dr	総合診療部思春期診療科の現状と展望
2005/9/7	放射線診断部 宮寄 Dr	小児のCT被ばく：CTでガンになるとの報道は真実か？
2005/9/14	救急診療科 阪井 Dr	小児の脳死問題についての考察
2005/9/21	腎臓科 亀井 Dr	難治性ネフローゼの治療 免疫抑制剤などの最近の動向について
2005/9/28	整形外科 高山 Dr	手の先天異常とその治療
2005/10/5	リハビリ科 高橋 Dr	摂食障害のリハビリテーション
2005/10/19	担当者	脳血流の最近の進歩
2005/10/26	USCF Resident 町田ゆき	米国の小児科レジデント研修
2005/11/2	形成外科 金子剛	鼻咽腔閉鎖不全の治療
2005/11/9	アレルギー科 野村伊知郎	アトピー性皮膚炎の性格な診断と治療

2005/11/16	成育政策科学研究室 原田正平	小児の慢性疾患包括的データベース、小児科医とタバコ
2005/11/30	外科 北野良博	外科疾患の初期治療
2005/12/7	担当者	川崎病とγグロブリン
2005/12/14	総合診療部	川崎病、胃食道逆流、虐待
2005/12/21	総合診療部	コホート、体重増加不良、夜尿症
2006/1/11	医療情報室 山野辺祐二	Windows パソコン活用法
2006/3/1	思春期診療科 永井章	小児心身症の治療のポイント
2006/3/15	神経内科 長澤哲郎	HHV 6脳症けいれん群発型
2006/3/22	担当	新しい抗菌薬
2006/3/29	在宅相談室 小山陽子	教えて！在宅療養指導管理って何？

4. 研究活動

川崎病、尿路感染症、細菌性髄膜炎、発達障害、重度心身障害児、虐待、体重増加不良などそれぞれ班を構成し研究を行っている。その成果は小児科学会総会、小児科学会東京都地方会、米國小児科学会、小児神経学会、小児救急医学会、外来小児科学会などの学会で報告した。

赤澤 晃

- ・平成16-18年度厚生労働科学研究費補助金による 免疫アレルギー疾患予防・治療 研究事業 研究課題名：気管支喘息の有病率・罹患率およびQOLに関する全年齢階級別全国調査に関する研究（主任研究者）
- ・平成17年度厚生労働科学研究費補助金による 免疫アレルギー疾患予防・治療 研究事業 研究課題名：「食物等によるアナフィラキシー反応の原因物質（アレルゲン）の確定、予防・予知法の確立に関する研究」（海老澤班）
- ・平成17年度厚生労働科学研究費補助金による 免疫アレルギー疾患予防・治療 研究事業 研究課題名：アレルギー疾患の治療反応性予測因子の確立及びテーラーメイド治療法の確立に関する研究（近藤班）
- ・平成17年度環境再生保全機構研究助成金による「大気汚染による健康影響に関する総合的研究、気管支喘息患者の年齢階層毎の長期経過・予後に関する研究 小児の班長
- ・平成17年度成育医療研究委託 ヘルペスウイルス感染の胎児・小児期における実態把握と発症機構に関する研究（藤原班）

土田 尚

- ・平成17年度厚生労働科学研究費補助金による 小児疾患臨床研究事業 研究課題名：「小児腎移植におけるミコフェノール酸モフェチルの有効性・安全性の確認、用法・用量の検討・確立に関する研究」（主任研究者：飯島一誠）分担研究者
- ・平成17年度厚生労働科学研究費補助金による 治験推進研究事業 研究課題名：「静注用フェノバルビタールの新生児けいれんに対する有効性・安全性に関する研究」（主任研究者：伊藤進）分担研究者
- ・平成17年度厚生労働科学研究費補助金による 医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業 研究課題名：「小児等の特殊患者群に対する医薬品の有効性、安全性情報の収集とそれらの情報に基づく評価・管理手法に関する研究」（主任研究者：松田一郎、分担研究者：中村秀文）研究協力者
- ・平成17年度厚生労働科学研究費補助金による 医薬品等医療技術リスク評価研究事業 研究課題名：「国際動向を踏まえた医薬品の新たな有効性及び安全性評価等に関する研究」（主任研究者：上田慶二、分担研究者：中村秀文）研究協力者

5. 研修会 研究会

赤澤 晃	
平成 17 年 7 月 21 日	第 6 回アレルギー臨床懇話会 (対象：世田谷区、目黒区、狛江市医師会小児 医療従事者)、公開症例検討会
平成 17 年 7 月 24 日	第 10 回日本ラテックスアレルギー研究会開催 (東京) 会長 赤澤 晃
平成 17 年 11 月 25 日	第 7 回アレルギー臨床懇話会 (対象：世田谷区、目黒区、狛江市医師会小児医療従事者)、公開症例検討会
平成 18 年 3 月 23 日	第 8 回アレルギー臨床懇話会 (対象：世田谷区、目黒区、狛江市医師会小児医療従事者)、公開症例検討会
土田 尚	
平成 17 年 9 月 9 日	平成 17 年度大規模治験ネットワーク基盤整備研究事業医師対象治験研修会講師 「治験薬概要書と治験実施計画書の読み方」 (対象：独立行政法人国立病院機構長良医療センター医師)
平成 18 年 2 月 8 日	東京慈恵会医科大学小児科グラウンドラウンド講師 「国内小児科領域における医薬品の適応外使用の現状、問題点及び解決への展望」 (対象：東京慈恵会医科大学小児科学教室所属医師)
平成 18 年 2 月 18 日	平成 17 年度大規模治験ネットワーク基盤整備研究事業医師対象治験研修会講師 「治験薬概要書と治験実施計画書の読み方」 (対象：独立行政法人国立病院機構北海道がんセンター医師)

6. 社会的活動

赤澤 晃	
平成 17 年 8 月 25 日～27 日	北区 15 歳未満転地療養事業平成 17 年度ぜん息サマーキャンプ指導
平成 17 年 5 月 21 日	杉並 アレルギーセミナー講師「子どものアレルギー、アトピー性皮膚炎などを考える」
平成 17 年 5 月 28 日	釧路 アレルギーセミナー「アレルギーとアトピーのための講演会」、 「学校対応マニュアル」セミナー
平成 17 年 7 月 28 日、8 月 18 日	世田谷区教育委員会保健給食課 食物アレルギーに関する講演
平成 17 年 8 月 3 日	多摩立川保健所 アレルギー性疾患対策事業に伴う講演会 「喘息の管理と園・学校生活の留意点」
平成 17 年 9 月 13 日	社団法人 日本家族計画協会 「アレルギーについて (食物アレルギー、喘息、皮膚疾患のスキンケア)」
平成 17 年 10 月 13 日	独立行政法人環境再生保全機構 杉並区 平成 17 年度ぜん息フォーラム
平成 17 年 10 月 28 日	独立行政法人 環境再生保全機構 平成 17 年度保健指導者研修 「保健指導の展開 医療における指導」
平成 17 年 10 月 15 日	財団法人日本アレルギー協会名 古屋 アレルギー研修会 2005
平成 17 年 10 月 26 日	神奈川県箱根町立宮城野小学校箱根 家庭教育講座「正しく知りたい

平成 17 年 12 月 3 日	子どものアレルギー」 足立区医師会 「ぜん息患者最新治療講演会」最新のぜん息治療について
平成 17 年 12 月 17 日	独立行政法人 環境再生保全機構世田谷区平成 17 年度喘息予防講演会 こどものぜん息、アレルギーのセルフケア
平成 18 年 2 月 8 日	東村山ひまわりの会 「ちゃんと知りたいアレルギーの話」

7. その他

赤澤 晃

日本アレルギー学会認定指導医 (認定番号 第 360 号)
 日本小児科学会専門医 (認定番号 第 9607 号)
 日本東洋医学会専門医 (認定番号 第 93-2895 号)
 外国医師臨床修練指導医
 日本アレルギー学会評議員
 日本小児アレルギー学会評議員
 国立医療学会評議員
 慈恵会医科大学小児科学講師
 日本ラテックスアレルギー研究会代表
 厚生労働省副作用判定調査会調査員
 American Academy of Allergy and Asthma & Immunology International Member

土田 尚

日本小児科学会専門医 (認定番号 第 10774 号)
 東京都身体障害者指定医 (呼吸機能障害の診断)